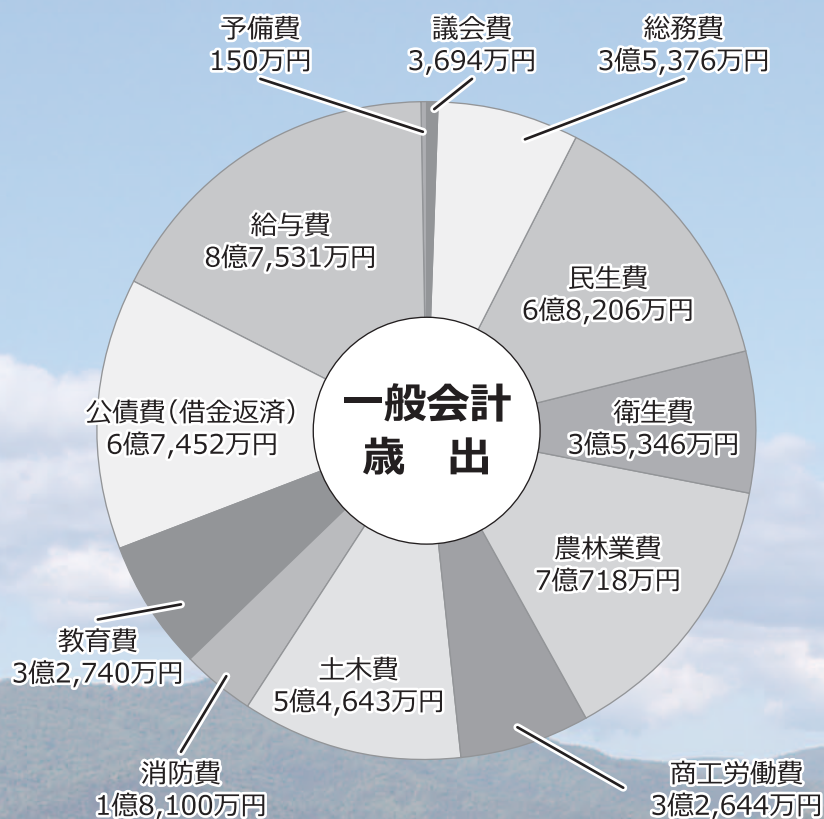


基礎的財政収支の 行政情報告知を新方式にする



令和2年度各種会計予算については、予算審査特別委員会へ付託され、3月12日から18日まで5日間の予算審査を行いました。

予算審査の冒頭には、副町長より、

本年度の予算編成は、国の地方財政計画、町の予算編成方針、第6期総合計画の財政運営基準である「基礎的財政収支」の黒字化、「2030年におけるありたい姿の実現」を目指し、「義務的経費を除く、管理可能なすべての予算を対象に5%の削減目標」、「第6期総合計画の着実な推進」、「効率的で効果的な行政運営の推進」などを基本目標として、産業の振興、町民生活の安全・安心の確保、町民福祉の向上、人口減少対策、雇用の場の創出など、持続可能な財政運営と地域社会の創造、地域諸課題の解決に向けた予算編成になっている。

一般会計では、歳入歳出ともに50億6,600万円(対前年度比3億9,500万円、8.5%増)を計上しており、前年度は骨格予算としての編成であり、政策予算を計上した6月補正予算との比較では0.6%の減となっている。下水道事業特別会計など特別会計を加えた7会計の総体の予算額は、73億663万円(対前年度比3億9,341万円5.7%増)となっている。との説明がありました。

その後、所管課ごとに推進施策、事業概要等の説明を受け審査を行い、最終日には理事者に対し総括質疑を行いました。

(予算審査特別委員会の内容については、4～6ページに掲載しています。)